

いなかだて



今月のおもな内容

- 村議会定例会…………… 2
- 話題いろいろ…………… 5
- お知らせ…………… 6
- 戸籍の窓…………… 9

村議会12月定例会

12月7日から11日まで第4回田舎館村議会定例会が開かれました。9日、10日には品川正人議員、田村道雄議員、平川重廣議員、山崎洋議員、鈴木孝一議員、品川新一議員が一般質問を行いましたので、主な内容を要約してお知らせします。

可決された主な案件

予算関係

- 平成27年度田舎館村一般会計補正予算
- 平成27年度田舎館村介護保険特別会計補正予算

その他

- 黒石地区清掃施設組合の共同処理する事務の変更及び黒石地区清掃施設組合規約の変更について
- 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて

条例関係

- 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例案
- 田舎館村暴力団排除のための公共施設の使用規制に関する条例の一部を改正する条例案
- 田舎館村証人等の費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案
- 田舎館村税条例等の一部を改正する条例案
- 田舎館村介護保険条例の一部を改正する条例案

一般質問

品川 正人 議員

①村からの出稼ぎの状況について

問 (ア)出稼ぎ労働者の人数と就労先の把握、安全指導や健康指導はどのようにしているのか。

答 (村長)村が把握している出稼ぎ労働者は今年度7人で、冬場の就労で最終的には昨年と同等程度になるものと予想している。就労先は関東圏が65%、中部圏が25%、その他の地域が10%となっている。安全指導についてはトラブル防止のため公共職業安定所を通して出稼ぎに行くよう呼びかけをしており、健康指導については就労前の健康診断を村負担で実施し、受診率は60%となっている。

問 (イ)復興事業に関連して被災地で働く出稼ぎ労働者を把握しているか。

答 (村長)平成26年度に1名の方が宮城県の建設会社へ出稼ぎに行っている。

問 (ウ)賃金不払い問題や過酷な労働条件の実態はないか。

答 (村長)村の出稼ぎ労働者からこのことに関する相談や苦情はない。

②中学生の送迎バスの運行について

問 (ア)通学時の生徒の実態をどのように把握しているか。

問 (イ)冬期間における生徒の登下校の仕方について把握しているか。

答 (教育長)全校生徒183人中、春～秋に自転車通学をしている生徒が181人、徒歩通学の生徒が2人である。冬は自家用車で送ってもらっている生徒が140人、徒歩通学の生徒

が43人となっている。

問 (ウ)通学時の安全、あるいは保護者の送迎による時間的、経済的負担軽減のためスクールバスによる送迎を実施する考えはあるか。

答 (教育長)運行コースや出発時間の調整、安全確保のために確認すること等多くの課題があり、それらを十分考慮しながら結論を出していきたい。

問 (エ)通年スクールバスを運用した場合、財政負担はどの程度になるか。

答 (教育長)「へき地教育振興法」及び「へき地教育振興法施行令」並びに「へき地教育振興法施行規則」に基づくと、該当地区は冬場の高田と豊時、大袋だけとなり、この3地区で運行した場合、年間で総額約780万円となる。

問 (オ)冬期間だけでもスクールバスでの送迎を実施する考えはないか。

答 (教育長)3地区から学校までを周回すると走行距離は15～20kmで、積雪や渋滞を考慮するとスクールバスの出発は午前7時頃と想定され、帰りも部活動や放課後の学習指導に制限が生じる。安全確保の観点からも学校と保護者を交えて検討していく必要があり、現在のところスクールバスによる冬期間の送迎について実施する考えはない。

③中学校グラウンドまたは村民相撲場へのトイレの設置について

問 サッカー部等の試合時のトイレ使用、栃ノ海杯相撲大会等での仮設トイレの設置において、学校施設の管理上の問題や主催者側の負担軽減を図るため、中学校グラウンドまたは村民相撲場にトイレを設置する考えはあるか。

答 (教育長)校舎東側トイレは、外

部から使用する時はトイレ以外の校舎内には入れないような構造となっている。栃ノ海杯相撲大会でのレンタルトイレについてはレンタル料の半分を助成しており、現在のところトイレの設置については考えていない。

田村 道雄 議員

①子ども議会の実施について

問 平成26年9月議会で子ども議会について質問したが、検討の結果実施するのか。

答 (村長)学年単位として実施する場合は授業の1つとして行う必要があることが難しく、一部の生徒を対象として行う場合は課外活動となり部活動やスポーツ少年団活動等と調整が必要となるなど今回は開催が難しく、見送ることとした。

②空き家対策について

問 平成27年6月議会で空き家数の棟数等を検討するとの答弁だったが、村としてはどのような条例をいつ頃制定する予定か。

答 (村長)今年度の調査で、空き家と認められた建物は80件あると判断された。このうち、老朽化や敷地内の雑草などの理由により「特定空家」と判断された建物が25件あり、今後、所有者や管理者に適切な管理をお願いしながら解消を図る必要があると考えている。来年度は空家等対策協議会を立ち上げて村の空家等対策計画を策定し、この計画に沿う条例のありかたを検討しながら、空き家に対する村の方針を決定していきたい。

平川 重廣 議員

①資格証明の受診現状について

問 (ア)被保険者、資格証明書の受診者は村内に何人いるのか。

答 (村長)11月末現在の被保険者数は2,288人、うち資格証明書の交付を受けた方は24人で、このうち18歳以下の方は5人となっている。

問 (イ)他市町村では正規保険証の取り上げが受診抑制を生んでいる。村内で今年度に資格証明書で受診した方はいるのか。

答 (村長)現在2人の方が受診されている。

問 (ウ)資格証明世帯の滞納理由、受診状況、健康状態を教えてください。

答 (村長)国保税の滞納理由は生活の困窮によるものが多いものと思われる。受診状況については、1人は5月と8月、もう1人は9月にそれぞれ受診しており、健康状態については、今年度特定健診を受診されていないので把握できない状況である。

問 (エ)1年以上理由なく滞納した世帯に短期証を発行するのか、また窓口相談に行けば支払いを求められるのか。

答 (村長)1年以上滞納した方には資格証明書を交付することになる。また、短期証の方が窓口へ相談に来たときはその場で支払いを求めることはないが、税務課での納税相談を行っている。

問 (オ)資格者が償還払いの手続きに行くと、保険料の支払いを求められるのか。

答 (村長)少しでも滞納した保険料を納めていただくようお願いをしている。

山崎 洋 議員

①地方創生関連について

問 地方創生について、村の体制とその進み具合は。

答 (村長)村の体制としては企画観光課企画係の2人が担当している。進み具合としては、平成26年度の繰り越し事業として予算化した5,210万円で、プレミアム商品券と子育て福祉支援商品券による消費喚起事業や空き家調査、ふるさと納税システ

ムの構築など、先行型地域活性化事業が進められている。最終的には、産・学・官・労・金の10名で構成された「田舎館村まち・ひと・しごと創生有識者会議」で検証していただき、村の総合戦略を完成させ実行していく。

②人口減対策について

問 (ア)来年度予算で実施すること、地方創生の中で検討実施することをそれぞれお答えいただきたい。

答 (村長)来年度予算はこれから予算査定を経て決定していくもので、国の地方創生事業に関する来年度予算についてもまだ提示されていない。現時点でお答えはできないが、財源の確保を1番に考えながら、総合戦略の中から実効性のあるものを実施してまいりたい。

問 (イ)田んぼアートを活用してお見合いパーティーを実施してはという意見を聞いているが、むらおこし推進協議会で実施できないか。

答 (村長)むらおこし推進協議会と関係団体との意見交換会でも提案されており、実現できるものか、同協議会と調整を検討したい。

③子育て対策について

問 近隣町村では小学生まで医療費及びインフルエンザの予防接種の補助を実施しているが、村としての計画は。

答 (村長)現在、未就学児の受診や医師の処方箋で薬をもらう場合の自己負担が無料となっているが、対象年齢を中学生までに拡大したいと考えている。インフルエンザの予防接種については、現在中学3年生と65歳以上の方、60歳以上65歳未満の内臓疾患等を有する方を対象に助成をしているが、まず子どもの医療費助成の拡大を優先したいと考えている。

④健康問題について

問 (ア)青森県は人口10万人あたり75歳未満のがんによる死亡率が全国最上位となっているが、村の現状と対策は。

答 (村長)村では昨年は9人、一昨年は11人の方ががんにより亡くなっており、肺がん・大腸がんが多いのが特徴である。対策としては、村の保健師を中心に在宅栄養士や保健協力員、食生活改善推進員の協力を得

ながら、生活習慣病の重度化予防や受診率の向上に向け努力をしている。

問 (イ)健康ボランティアを組織してはどうか。

答 (村長)村では村民の健康保持と増進を図るため、保健協力員と食生活改善推進員会を設立して年25万円の補助金で活動をお願いしている。今後もこれらの団体と連携をより一層強化していきたいと思うので、新たな健康ボランティア組織を作る考えは今のところない。

⑤地方交付税と財政について

問 人口減が続くと地方交付税、財政はどのようなになるのか。

答 (村長)人口が減少した場合、個人住民税の税収が減少し、人口を算定数値としている部分では地方交付税にも影響が出てくる。地方創生の総合戦略がこの人口減少問題に対して効果を発揮出来るよう取り組んでまいりたい。

鈴木 孝一 議員

①営農振興について

問 (ア)TPP問題に対してどのような考えをお持ちか。反対であれば、魅力ある農業体制にするためにどのように思っているか。

答 (村長)大筋合意に伴う政府の影響分析を見ると、村の基幹作物である米は備蓄米を増やすことで市場への影響を減らせるものとし、りんごについては国際競争力が高く影響は限定的なものとしているが、長期的に見ると国内の生産量や価格に影響が出てくるのは間違いないと思っているので、基本的には反対の考えを持っている。今年度は収入減少影響緩和対策や特産果樹生産促進事業などの経営基盤の強化対策等事業を新規に立ち上げ、基幹作物の振興のほか、引き続き野菜や花卉などほかの振興作物や新たな作物を推進し、田畑輪換や転作による複合経営で農業者の所得向上につながる経営基盤強化対策を検討し、魅力ある農業体制づくりを目指したい。

問 (イ)休耕田の有効活用に伴うブロッコリー作付けに村からの支援等はあるのか。

答 (村長)ブロッコリーは新たな転作作物として期待されることから、

今年度から村の振興作物に認定しており、産地交付金の補助対象となっている。

②旧光田寺小学校跡地の再利用について

問 建物、土地の利活用をどのように考えているのか。

答 (村長)校舎を買い取り、障がい者が働ける施設として利用したいというお話をいただいているので、その実現に向け協力してまいりたい。

③道路の拡張について

問 高田部落から黒石厚生病院間の道路拡張について検討してもらえないか。

答 (村長)この区間は村道と黒石市の市道があるので、今後黒石市と協議し、対応を見ながら検討していきたい。

④田んぼアート見学者について

問 第1会場の混雑解消のため、エレベーターをもう1機設置等の検討をしてもらえないか。また、ゴールデンウィークに村に集客できるよう何か検討してもらえないか。

答 (村長)第1会場の展望台が狭いため1時間以上の待ち時間が発生し、第2会場だけの見学で帰られた方もいた。この問題を解決するため、役場3階の屋上にバリアフリーの展望デッキを設置して、高齢者や身障者を含め第1会場の見学者を増やす対策を今年度に検討してまいりたい。ゴールデンウィークの集客検討については、今年の石アートが非常に好評であったことから、これで新たな企画ができないか検討していきたい。

品川 新一 議員

①田んぼアートについて

問 (ア)第1アートと第2アートの見学者数には約2万人の開きがあるが、この原因は何か。

問 (イ)第1会場の待ち時間の解消対策は考えているのか。

答 (村長)鈴木孝一議員の質問と重複するので、答弁を省略させていただく。

②公約について

問 (ア)小中一貫教育について、有識者等の人選をし、検討会を実施したのか。

答 (教育長)まず村の子どもの実情に即した小中一貫教育の目標を明確にし、それに添った取組が必要と考え、その上で教育委員会できちんとした方向性を示した後に時間をいただき有識者の人選及び検討会を実施したいと考えている。

問 (イ)施設一体型の設備は新規か既存の施設に増設するのか、協議したのか。

答 (教育長)協議はしていないが、今後多くの意見をいただき小中一貫校の実現に向けて取り組んでいきたい。

③インフルエンザ助成について

問 子育て支援の一環として保育園児までの無料実施はできないか

答 (村長)山崎洋議員の質問でお答えしたとおり、中学生までの医療費助成の拡充を優先してまいりたい。

平成28年行政連絡員

1月20日、田舎館村行政連絡員会議が村役場委員会室で行われ、各部落の行政連絡員に委嘱状が渡されました。平成28年の行政連絡員は次のとおりです。

高 樋	川崎 謙一	大 曲	山本 正志	前田屋敷	工藤 義明
十二川原	品川 新一	諏訪堂	田澤 文清	土矢倉	平澤 久雄
枝 川	工藤 一	大根子	葛原 誠	堂野前	福原 敏彦
垂 柳	小野 榮	豊 蒔	浅利 正昭	新 町	佐藤 健一
田舎館	肥後 武樹	大 袋	葛西 廣直	東光寺	中村 清光
八反田	菊地 孝則	川部・和泉	平川 忠博	二津屋	金枝 岩雄
畑 中	佐藤 金敏	境 森	八木橋輝秋	高 田	鈴木 孝一



平成28年農事連絡員

1月22日、田舎館村農事連絡員会議が村役場委員会室で行われ、各部落の農事連絡員に委嘱状が渡されました。平成28年の農事連絡員は次のとおりです。

高 樋	鎌田 和幸	大 曲	阿保 喜行	前田屋敷	山谷 鉄美
十二川原	品川眞佐治	諏訪堂	田澤 正栄	土矢倉	平澤 昭彦
枝 川	工藤美勇記	大根子	鈴木 誠	堂野前	清藤 博英
垂 柳	小野 新一	豊 蒔	葛原 政嘉	新 町	小山 清孝
八反田	相馬 繁	大 袋	葛西 正人	東光寺	小野 謙市
田舎館	齋藤 光廣	川部・和泉	中山 房悦	二津屋	金枝 正明
畑 中	佐々木 満	境 森	八木橋俊礼	高 田	福原 峰人



話題いろいろ

1/1 元旦の伝統行事



八反田部落で裸参りが行われました。男衆は年縄と鏡餅を担ぎ、八反田会館から八幡宮まで練り歩きました。八幡宮の神殿で今年1年の五穀豊穡、無病息災を祈願し、奉納された年縄は鳥居に飾り付けられました。

1/2 幸せを招き、魔を払う



垂柳部落で垂柳獅子踊保存会による正月の悪魔払いが行われました。保存会メンバーは神明宮に参拝後、部落内の家々をまわって門付けをし、家内安全・無病息災を願いました。

1/4 新年のあいさつを交わす



平成28年新年互礼会を村中央公民館大ホールで行いました。会ではまず叙勲と総務大臣感謝状受賞(章)者を紹介し、功績を称えました。その後は出席者が互いに新年のあいさつを交わしながら、会話を弾ませていました。

1/10 福俵が舞い込んだ♪



大根子部落でカパカパと福俵が行われました。子ども達は部落内の家々で歌に乗せて俵を転がし、軒先にはカパカパ人形を立てかけて福の到来を願いました。行事中、子ども達の元気な歌が部落中に響き渡っていました。

1/10 これからの活躍を誓う



村文化会館で成人式を行いました。式では一戸春果さんがたちの誓いを述べ、新成人としての決意を表明しました。式後は村中央公民館で記念パーティーが行われ、旧友や恩師との再会を喜んでいました。

1/17 うどんもダンスも堪能



「田園」未来を築く会主催の田園まつりが行われました。午前中は遊稲の館で3色うどん打ち体験教室が、午後は村埋蔵文化財センターでAOMORI花嵐桜組によるよさこいDANCE LIVEが行われ、参加者はボリュームたっぷりのイベントを満喫した様子でした。



お知らせ

役場からのお知らせ

役場 ☎ 58-2111 (代表)

お問い合わせの際は、各課の内線番号をお伝えください。

今月の納税相談

	夜間納税相談	休日納税相談
とき	2月24日(水) 午後5時～午後7時	2月28日(日) 午前9時～午後4時
ところ	税務課窓口	税務課窓口

▷お問い合わせ／税務課徴収係 (内線123)

人権行政相談

○とき／2月17日(水) 午前9時～正午

○ところ／役場1階相談室

▷お問い合わせ／住民課住民係 (内線164)

今月の粗大ゴミ収集日

2月24日(水)

▷お問い合わせ／厚生課環境衛生係 (内線152、153)

国民年金だより

ご存知ですか？国民年金の任意加入制度

老齢基礎年金(65歳から受けられる年金)は、20歳から60歳になるまでの40年間保険料を納めなければ、満額の年金を受け取ることができません。

国民年金保険料の納め忘れなどにより、保険料の納付済期間が40年間に満たない場合は、60歳から65歳になるまでの間に国民年金に任意加入して保険料を納めることにより、満額に近づけることができます。

なお、老齢基礎年金を受けるためには保険料の納付済期間や保険料の免除期間等が原則として25年以上必要となりますが、この要件を満たしていない場合は、70歳になるまで任意加入することができます。(ただし、昭和40年4月1日以前に生まれた方に限られます。)

また、海外に在住する日本国籍を持つ方も、国民年金に任意加入することができます。詳しくは、役場または年金事務所にお問い合わせください。

国民年金保険料は口座振替がお得です

国民年金保険料の納付には、口座振替がご利用になれます。口座振替をご利用いただくと、保険料が自動的に引き落とされるので金融機関などに行く手間が省けるうえ、納め忘れもなく、とても便利です。

また、口座振替には、当月分保険料を当月末に振替納付することにより、月々50円割引される早割制度や、現金納付よりも割引額が多い6ヶ月前納・1年前納・2

年前納もあり、大変お得です。

口座振替をご希望の方は、納付書または年金手帳、通帳、金融機関届出印を持参のうえ、ご希望の金融機関または役場、年金事務所へお申し出ください。

▷お問い合わせ／住民課保育年金係 (内線161)

弘前年金事務所 ☎ 27-1339

建設課下水道係からのお知らせ

下水道への早期接続について

下水道設備は、生活環境の改善や環境保全の役割を果たすもので、各家庭から排出されるし尿や雑排水は、そのまま水路や河川へ流すと自然環境の破壊へつなぐとともに、公衆衛生上好ましくありません。衛生的で快適な生活を送るために、また、みんなで生活環境・自然を守るために下水道供用開始された区域でまだ接続されていないご家庭は、早めに水洗化工事をし、下水道に接続してください。

また、接続工事は村の指定工事業者が行うことになっており、書類作成、届出などの手続きを皆さまに代わって行います。お気軽にご相談ください。

井戸水認定人数等の変更届を忘れずに！

下水道を利用している方で、井戸水の認定を受けており、人数等に変更があった場合は届出が必要です。

井戸水を使用している方は人数や使用場所によって料金が決定されます。家族の転出や転入、出生や死亡等で人数の変更が生じた場合は、速やかに届出してください。

▷お問い合わせ／建設課下水道係 (内線233)

農家相談を実施します

農地をめぐる紛争や悩みごとの相談をお受けします。お気軽にご利用ください。秘密は守ります。

○とき／2月19日(金) 午前9時～午後3時

○ところ／役場3階第1委員会室

▷お問い合わせ／農業委員会 (内線131)

村議会委員会等活動記録

下記の日程で委員会等活動がありましたので、お知らせします。

1月14日(木) 議員全員協議会

①展望デッキ建設について

▷お問い合わせ／議会事務局 (内線311)

平成28年度「白寿大学」学生募集!!

村教育委員会では、平成28年度「白寿大学」の学生を募集します。あなたも“大学”で学んでみませんか？

- 対象／村内在住者で60歳以上の方ならどなたでも
- 趣旨／高齢者の健康増進と、学習機会の充実を図る
- 学習内容／講演会、水泳、散策、軽スポーツ、施設見学など
- 開講期間／4月～平成29年3月
- 開講場所／文化会館ほか
- 受講料／個人負担（講座ごとに集金します。）
- 申込方法／部落、氏名、住所、電話番号を下記までお知らせください。
- 申込締切／3月25日(金)
- ▷申し込み・問い合わせ／中央公民館(内線501、502)
☎58-2250(直通) FAX 58-2394

1日1円で、ご家族に大きな安心を

交通災害共済は、日本全国どこで起きた交通事故でも、弔慰金またはけがの程度に応じて見舞金をお支払いする制度です。不慮の事故に備えて、家族そろって加入しましょう。

共済見舞金は災害の程度により、2万円～15万円（死亡した場合は100万円）をお支払いします。

- 共済期間／4月1日(金)～平成29年3月31日(金)
※4月以降加入の場合、受付日から平成29年3月31日(金)まで
- 会費／年間1人350円
- 申込方法／総務課防災交通係で随時受け付け
※2月中は各団体（部落、交通安全母の会、小・中学校、保育園等）が加入のとりまとめを行っています。二重加入にならないようご注意ください。
- 予約申込期限／3月31日(木)
- ▷問い合わせ／総務課防災交通係（内線221）

田舎館村臨時職員登録者募集

村では、下記のとおり臨時職員（運転労務員）の登録者を募集しています。

	観光運転手	給食運転手
募集人員	2人	1人
任用期間	6月9日～10月10日(予定)	4月1日～平成29年3月31日
対象者	第二種運転免許所持者を優先します。	中型自動車運転免許所持者に限ります。
業務内容	第1田んぼアート会場(田舎館村役場)と第2田んぼアート会場(道の駅いなかだて「弥生の里」地内)間の見学者送迎及び観光ガイド	学校給食センターから田舎館小学校への給食配送業務など
勤務日	月～日曜日 ※勤務日は臨時職員2人で調整し、任用期間(約4ヶ月)の半分程度の勤務日数を予定しています。	月～金曜日 ※基本的に学校給食センター稼働日のみ勤務
勤務時間	午前8時30分～午後5時30分	午前8時15分～午後5時
賃金	月額8,000円	月額5,900円

- 申込方法／申込書は総務課人事係で配付しますので、必要事項記入のうえ、総務課人事係へ提出してください。
また、申込書は村ホームページからもダウンロードできます。
<http://www.vill.inakadate.lg.jp/docs/2015021300013/>
- 申込締切／3月11日(金)
- ▷問い合わせ／総務課人事係（内線225）

その他お知らせ

自衛官募集案内

	予備自衛官補(一般)	予備自衛官補(技能)	男子自衛官候補生
資格	18～34歳未満	18～55歳未満で国家免許を有する者	18～27歳未満
受付期限	4月8日(金)		2月19日(金)
試験日	4月16日(土)		2月27日(土)

受験資格等、詳しくは下記へお問い合わせください。

- ▷問い合わせ／自衛隊青森地方協力本部弘前地域事務所 ☎27-3871

確定申告書作成会場のご案内

○開設期間/2月16日(火)~3月15日(火)
(土・日除く) 午前9時~午後5時

○ところ/黒石税務署1階会議室

※確定申告書作成会場は大変混雑し、長時間お待ちいただく場合があります。下記国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」を利用したご自宅での申告書作成を是非お試しください。

<https://www.nta.go.jp/tetsuzuki/shinkoku/shotoku/kakutei.htm>

▷問い合わせ/黒石税務署 ☎52-4111

平成28・29年度指名競争入札等参加資格審査申請受付のお知らせ

津軽広域水道企業団(津軽事業部・西北事業部)では、指名競争入札等参加資格審査申請の定期受付を以下のとおり実施します。

○対象/当企業団が発注する下記業務の指名競争入札等に参加しようとする者及び随意契約の方法により契約の締結を希望する者

- ①建設工事の請負業務
- ②測量・設計等の建設関連業務
- ③製造の請負・物件の買入・その他の業務
- ④業務委託

○受付期限/2月29日(月) 午前9時~正午、午後1時~午後4時 (土・日・祝日を除く)

詳細は下記の津軽広域水道企業団ホームページをご覧ください。お問い合せください。

<http://www.tusui.jp>

▷申し込み・問い合わせ/

津軽広域水道事業団

津軽事業部総務課 ☎52-6033

西北事業部総務課 ☎0173-25-2711

スポーツ安全保険に加入しませんか?

スポーツ・文化・ボランティア活動など幅広く適用されます。4名以上の団体でご加入ください。

対象となる事故	<ul style="list-style-type: none"> ・団体活動中の事故 ・往復中の事故(自動車事故による賠償責任は適用外)
補償内容	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害保険(通院、入院、後遺障害、死亡) ・賠償責任保険 ・突然死葬祭費用保険
加入受付期間	3月1日(火)~平成29年3月30日(木)
保険期間	4月1日(金) 午前0時 ~平成29年3月31日(金) 午後12時
掛金	1人年額800円~11,000円 (団体の活動内容・年齢などによって異なります。)

▷問い合わせ/スポーツ安全協会青森県支部
☎017-782-6984

村お達者くらぶ開催のお知らせ

65歳以上の方を対象に、加齢に伴う転倒予防・認知症予防を目的として、村お達者くらぶを開催します。

○テーマ/体力測定と軽体操

○参加費/無料

と き	と ころ
3月11日(金)	村中央公民館大広間
3月18日(金)	午後1時30分~午後3時 村老人福祉センター大広間
3月25日(金)	村ふれあいセンター (川部温泉) 大広間

※無料送迎いたします。希望する方は各会場開催日1週間前までにお申し込みください。

▷問い合わせ/村地域包括支援センター ☎58-3704

住宅用火災警報器の設置は義務です!

住宅用火災警報器(以下「住警器」という)の設置が義務化され、今年6月で10年になろうとしています。まだ設置されていない住宅はぜひ取り付けてください。

住警器の設置による奏功事例が数多く全国から寄せられています。昨年6月の住警器設置率は全国(81%)管内(63%)でとても低い状態です。住宅防火の「切り札」とし皆さまの命を守るため、設置率100%にご協力ください。

住警器の交換時期について



- ・警報が鳴らない
- ・点検時に電池切れ警報が鳴る



交換をおすすめします!

住警器は古くなると電子部品の寿命があるため、10年を目安に交換しましょう!

▷問い合わせ/弘前地区消防事務組合消防本部予防課
☎32-5104

(地独)青森県産業技術センターりんご研究所 平成27年度(第36回)試験成果・情報発表会

各種試験成果の展示のほか、りんごの試食も行います。ぜひお越しください。

○と き/2月16日(火) 午後1時30分~午後4時

○と ころ/平川市文化センター文化ホール

○発表内容/りんご「ふじ」のわい化密植栽培における樹の生育と収量の経年変化
りんご「ふじ」着色系統の果実特性
平成27年におけるりんご黒星病の発生要因
おうとう新品種「ジュノハート」の特性
ぶどう「スチューベン」の長期貯蔵における灰色かび病の防除対策

▷問い合わせ/(地独)青森県産業技術センターりんご研究所 ☎52-2331

戸籍の窓

12月11日～1月20日受付
本村に現住所のある方を掲載しております。

敬称略

お誕生おめでとうございます

津島 ^{げん} 玄くん
(慶人・花菜恵) 川部



ご結婚おめでとうございます

(白戸 祐也	平川市
(田村 文乃	前田屋敷
(中村 敦	八戸市
(鈴木 里歩	川部
(中村 拓哉	堂野前
(一戸 美希子	青森市
(三上 秀憲	弘前市
(工藤 美喜子	十二川原
(伊藤 拓真	黒石市
(葛原 美沙子	豊蔭
(福原 雅之	黒石市
(小野 祐希	田舎館

おくやみ申し上げます

工藤 ツナ (102歳)	川部
齊藤 東三男 (92歳)	田舎館
小野 喜之助 (86歳)	垂柳
山本 久雄 (85歳)	大曲
福士 義美 (66歳)	新町
葛原 チエ (92歳)	豊蔭
福井 芳春 (88歳)	川部
白戸 徹郎 (79歳)	前田屋敷
阿保 つな (94歳)	八反田
田澤 薫 (85歳)	大根子
工藤 長宣 (78歳)	前田屋敷
葛西 弘司 (76歳)	大袋
福井 やえ (91歳)	川部
田澤 勉 (78歳)	大根子

県内の交通事故概況

(平成28年1月末日現在)

	1月	
	県内	村内
件数	377 (377)	4 (4)
死者	4 (4)	0 (0)
傷者	458 (458)	4 (4)

() は1月からの累計

人口と世帯

(平成28年1月末日現在)

男	3,834人 (-7)
女	4,275人 (-1)
計	8,109人 (-8)
世帯数	2,696世帯 (+4)

() は前月との比較

図書室だより 新刊図書の案内

▷問い合わせ／中央公民館 ☎58-2250

- ・フォルトゥナの瞳 百田尚樹／著 新潮社
- ・坂の途中の家 角田光代／著 朝日新聞出版
- ・悩まずにはいられない人 加藤 諦三／著 PHP 研究所
- ・余命三年時事日記 余命プロジェクトチーム／著 青林堂
- ・言葉の贅肉—今日も超饒舌 (よげしゃべり) 伊奈かつぺい／著 岩波書店

- ・売れる!楽しい!「手書きPOP」のつくり方 増澤美沙緒／著 同文館出版
- ・日本人の9割が答えられない日本の大疑問100 話題の達人倶楽部／編 青春出版社
- ・クックパッドみんなのトースト&サンドイッチHitレシピ クックパッド株式会社／監修 主婦の友社
- ・おやすみ、ロジャー カール=ヨハン・エリオン／作 飛鳥新社
- ・カガミの国へようこそ! うるまでるび／作 学研教育出版
ほか



Happy Birthday 2月生まれのおともだち

東光寺



成田 楽斗くん

平成22年2月17日生

父…剛さん 母…ルミ子さん

「和太鼓上手に頑張ったね。もうすぐピカピカの1年生です。」

和泉



高橋 凛ちゃん

平成26年2月5日生

父…亮さん 母…沙耶さん

「2歳おめでとう♡最近はお歌を歌ったり、おしゃべりさんになりました。」

※広報では、3月生まれのお子さんの写真を募集中です。(2月22日締切) ①氏名(ふりがな) ②生年月日 ③住所 ④両親の氏名 ⑤コメントなどを書いて、企画観光課企画係まで郵送またはご持参下さい。写真は後日お返しします。

NEWS 村役場のプラモデルが 東北のおみやげコンテストで上位に



株式会社ソルテック(川部)の商品「田舎館村役場プラスチックキット」が、昨年行われた第2回新東北おみやげコンテストの生活文化部門で最優秀賞に次ぐ優秀賞を受賞しました。このコンテストは東北の新しい名物となるようなおみや

げを生み出すことが目的で、食品部門と生活文化部門それぞれに東北地方の企業が参加しました。生活文化部門ではソルテックを含む5社が書類による1次審査を通過し、12月2日に行われた商品プレゼンテーションの2次審査で最優秀賞を競いました。

12月18日には小泉社長と社員2人が村役場を訪問し、副村長に受賞報告をしました。小泉社長は「この受賞をはじめ私たちが村の名前を広めていくことの役に立つのなら、これからもどんどん協力していきたい。」と述べました。また、「今後はお米に関連して何か作ることができれば」と次のおみやげ商品制作への意欲を見せていました。

今月の表紙 今年も皆さんに 喜んでもらえるように



1月2日、刀匠・中畑貢(号・國廣)さんによる日本刀の打ち初めが田舎館部落の自宅鍛冶場で行われました。中畑さんは烏帽子・直垂を身にまとい、次男の房雄さんと弟子の吉沢剛さんとともに、「折り返し鍛錬」を行いはがねを鍛えました。

打ち初め後、中畑さんは「一振りでも多く皆さんに喜んでもらえるような名刀を作りたい」と今年の抱負を述べました。

今月の題字



名前：中村翔太さん
学校：田舎館小学校6年1組
地区：東光寺

一言：「もうすぐ卒業。6年間で一番の思い出は、修学旅行です。自主見学で函館をまわったり、ルスツリゾートで遊んだりしました。」

あしがき

日本刀の打ち初めでは、はがねを打ち付けるたびに激しく火花が飛び散っていました。私は頭から火花を浴びてんやわんやでしたが、打ち初めの火花を浴びるなんて滅多に体験できることはありません。ご利益ありそうです。

